

八丈島 水産だより 12月号 2012



鮮やかな「つわぶき」



冬の空

もう12月です。道端のあちらこちらで「つわぶき」の黄色い花が咲いています。八丈島の冬は強い風で海が荒れる日が多く、このような日は漁に出られません。特に今年の12月のはじめは、低気圧が続けて島の近くを通り海が荒れて漁に出られない日が10日以上も続いたため、漁師さんは大変困りました。この時期は、正月用の「ムロアジくさや」づくりで忙しい加工組合の皆さんや給食用の加工で忙しい漁協女性部の皆さんがムロアジを待ち望んでいましたが、ムロアジが獲れないので、漁師さんと同じで大変困りました。

■ 潮まつり

漁に出ることができない日があまりにも続いたので、ムロアジ漁の漁師さんは、荒れた海を静めるため久しぶりに「潮まつり」を行いました。「潮まつり」は、漁師さんの仲間が集まって海が静かになることを願い、宴会を開いて気持ちを活気づけるものです。「潮まつり」のおかげのせいか、次の日から強い風が少しおさまったので、待ってましたとばかりに、ムロアジ漁の漁船が一斉に出港しました。



ひさびさのムロアジ漁

■ 朝市の出前？

漁協女性部の皆さんは、毎月第3土曜日に底土地区の漁師小屋で朝市を開催しています。主に八丈島の地元のお客さんでにぎわっていますが、人気のおかずは早めに品切れとなるほどです。11月の終わりには、檜立地区の商店と一緒に朝市を行いました。こちらの朝市でも多くの島のお客さんが訪れ、ムロアジ節ごはんやトビウオコロッケなどの女性部手作りの加工品をはじめ、すべての品が売り切れとなりました。



にぎわう檜立地区の朝市